

浅井 建爾

Vol

23

日本の可住地は国土面積の何%か？

可住地を分かりやすく言えば「居住が可能な土地」ということになるが、日本の国土は約三分の二を山地が占めているので、可住地の面積はきわめて狭い。先進国の中で、可住地の占める割合が日本ほど少ない国もないだろう。では、平地はすべて可住地で山地は可住地ではないのかというと、必ずしもそうとは言えない。平地でも森林地帯はあるし、山の斜面が農地や宅地として開発されているところもあるからだ。

農林水産省では、「国土面積から、山林原野及び主要な湖沼を差し引いた面積」を可住地としている。ここでいう湖沼は、「面積が1km以上の自然湖で、人造湖は含まれていない。要するに、宅地を始め農地や道路など、既に開発されている土地が可住地になる。したがって、山林が開発されて宅地や道路などが建設されれば、可住地の面積も増加する。日本は高度成長期

に、山林や丘陵地などがさまざまな勢いで開発され、つぎつぎと宅地や工場用地に転用された。そのため自然が破壊され、大都市の周辺では可住地の面積が随分増加している。

日本の可住地面積は十二万三千三百九十二・六km²。これは日本の総面積の三二・五%に当たる。可住地面積の比率(国土面積に占める可住地面積の割合)を見てみると、大都市圏を形成している府県が上位に名を連ねている。一位の大府府を除けば、二位から六位までが首都圏にある。首都圏は可住地に恵まれていたから人口が集中したとも言えるが、人口が集中してきたから山地や丘陵地が切り開かれて可住地面積が広がったとも言える。いずれにしろ、大都市の周辺地域では、宅地の開発や臨海部の造成などで可住地面積が著しく増加したことだけは間違いない。

可住地が県の総面積の五〇%を超えているのは、大阪府を筆頭に、千葉、埼玉、茨城、東京、神奈川県、愛知、福岡、佐賀、香川、沖縄の十一都府県。反対に、可住地面積が県の総面積の四分の一にも満たないのは、徳島、長野、岩手、宮崎、和歌山、奈良、山梨、岐阜、島根、高知

の十県ある。最下位は高知県で可住地面積の比率はわずか一六・四%に過ぎない。そういうえば、森林率が最も高いのも高知県だ。高知県の地形をよく見ると、高知平野や中村平野など、平野があるにはあるがどこも狭く、山地が海ぎわまで迫っている。可住地面積の比率が最も高い大阪府(六九・五%)は、森林面積の比率が日本で最も低い。

大阪府の面積は高知県の四分の一ほどしかないのに、可住地の面積は高知県より広いのだ。これからも、都道府県の面積と可住地面積は比例していないことが分かる。また、可住地面積の比率から、各県のおおよその地形を想像することもできる。

日本は可住地面積が狭いからといって、決して悲観することもないだろう。可住地面積の狭さは、日本の食料自給率が低い一因になっているのは確かだが、では、可住地面積が広ければそれでよいのかというと、必ずしもそうとは言えない。国土のほとんどが可住地で占められている南アジアのバン格拉デシュが、果たして恵まれた国と言えるだろうか。むしろその逆に、人口の過密から経済状況も悪く、最貧国の一つに数えられている。日本のように、一億二千万人以上の人が住んでいないが、まだ国土の三分の二に自然が残されていると考えれば、日本はまだまだ多くの可能性を秘めた素晴らしい国だと見ることが出来る。

*可住地面積及び可住地率

都道府県	可住地面積 (km ²)	可住地率 (%)	順位
北海道	2万1901.2	27.9	31
青森	3204.2	33.4	22
岩手	3710.1	24.3	40
宮城	3130.5	43.0	14
秋田	3154.6	27.2	32
山形	2850.1	30.6	28
福島	4218.3	30.6	27
茨城	3976.0	65.2	4
栃木	2946.0	46.0	12
群馬	2294.6	36.1	17
埼玉	2565.6	67.6	3
千葉	3488.1	67.6	2
東京	1396.2	63.8	5
神奈川	1459.9	60.4	6
新潟	4482.4	35.6	19
富山	1850.5	43.6	13
石川	1383.0	33.0	23
福井	1066.6	25.5	35
山梨	950.3	21.3	44
長野	3310.8	24.4	39
岐阜	2167.7	20.4	45
静岡	2731.6	35.1	20
愛知	2959.9	57.3	7
三重	2022.4	35.0	21
滋賀	1289.0	32.1	25
京都	1155.2	25.0	36
大阪	1317.8	69.5	1
兵庫	2759.0	32.9	24
奈良	850.5	23.0	43
和歌山	1097.9	23.2	42
鳥取	912.1	26.0	34
島根	1256.3	18.7	46
岡山	2211.3	31.1	26
広島	2256.8	26.6	33
山口	1750.9	28.6	29
徳島	1022.1	24.7	38
香川	991.8	52.9	10
愛媛	1670.9	29.4	37
高知	1168.5	16.4	47
福岡	2742.4	55.1	8
佐賀	1340.2	54.9	9
長崎	1619.9	39.6	15
熊本	2747.1	37.1	16
大分	1770.4	27.9	30
宮崎	1835.4	23.7	41
鹿児島	3243.6	35.3	18
沖縄	1162.8	51.5	11
全国	12万1392.6	32.6	

・総務省統計局の資料をもとに作成(2006年)

*可住地率は都道府県面積に占める可住地面積の割合